



2024年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月11日

上場会社名 タピオ 株式会社
コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 勝寛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 関 淑束
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	11,778	7.5	497	121.7	512	110.6	414	329.2
2023年2月期第3四半期	10,952	13.1	224		243		96	

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 416百万円 (342.8%) 2023年2月期第3四半期 94百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	60.99	
2023年2月期第3四半期	14.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	8,948	4,243	47.4
2023年2月期	7,733	4,019	52.0

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 4,243百万円 2023年2月期 4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		30.00	30.00
2024年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	4.2	590	16.3	610	15.2	420	80.7	61.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	6,813,880 株	2023年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2024年2月期3Q	13,530 株	2023年2月期	23,933 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	6,796,188 株	2023年2月期3Q	6,804,168 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年11月30日）における国内経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、行動制限や入国規制が解除され、経済活動の正常化が進みました。一方、長期化する地政学リスクや原材料及びエネルギー価格の高騰、為替相場の急激な変動など、今後の先行きは不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、賃上げによる所得環境の改善や外出機運の高まりによる人流の増加に加え、円安によるインバウンド需要の拡大などにより堅調に推移しました。

このような状況の中で当グループは、メンズ売上をレディース売上と並ぶ柱にするという中期的な目標の下、メンズ顧客層の拡大及びメンズ商品の認知度向上を目的に、俳優・窪塚洋介氏を『Tabio MEN』の公式アンバサダーに起用しました。インスタグラムによる動画発信などへの反響も大きく、メンズブランドの認知度向上に大きく寄与しております。

またパルス型消費に対応できる生産体制の構築及び販売手法の確立を目的に、定番商品の内覧会の開催時期を変更いたしました。これにより、定番商品の安定した生産とトレンド商品の需要に即応できる生産の両立に向けた商品供給体制の見直しを行っております。販売面におきましてはEC・店舗共通の販促企画の立案やWEB・SNSでの発信力強化を目的に、国内EC部門を部署間横断チームとする社内体制の変更を行っております。

さらに、国内靴下業界全体の発展を目的に2023年11月1日付で株式会社ナイガイと資本業務提携契約を締結しました。当社と株式会社ナイガイは、ともに高品質な靴下に価値を見出す企業であり、その両社がお互いの強みを活かした共同プロジェクトを遂行することで、目的の実現に邁進してまいります。

なお当社は、2023年3月10日に創業55周年を迎えました。「靴下業界の良心たれ」という創業者の熱い想いに向き合いながら、「熱愛」「顧客中心」「不易流行」「和」の経営理念のもと、モノづくりやお店づくり、人づくりに決して妥協することなく、国内協力工場の皆様やフランチャイジーの皆様と強いパートナーシップを築き、今後とも、お客様のために最高の商品づくりとお店づくりを目指してまいります。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店5店舗、直営店5店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店4店舗、直営店4店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店115店舗（海外代理商による29店舗を含む）、直営店160店舗（海外4店舗を含む）、合計275店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,778百万円（前年同期比7.5%増）と好調に推移しました。内訳は、国内専門店事業で9,229百万円（前年同期比6.9%増）、国内EC事業で1,386百万円（前年同期比2.1%減）、海外・スポーツ卸事業1,162百万円（前年同期比28.9%増）であります。利益面では、営業利益497百万円（前年同期比121.7%増）、経常利益512百万円（前年同期比110.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益414百万円（前年同期比329.2%増）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金740百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金599百万円、商品504百万円、土地419百万円、投資その他の資産のその他396百万円増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて1,214百万円増加し、8,948百万円となりました。

負債については、長期借入金164百万円減少しましたが、短期借入金500百万円、流動負債のその他283百万円、買掛金247百万円増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて990百万円増加し、4,705百万円となりました。

純資産については、配当金の支払い203百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益414百万円の計上、自己株式11百万円の減少により、前連結会計年度末と比べて224百万円増加し、4,243百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ52.0%から47.4%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年1月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,731	1,861,694
受取手形及び売掛金	705,999	1,305,177
商品	663,026	1,167,996
貯蔵品	432	643
その他	127,061	159,889
貸倒引当金	△3,064	△2,658
流動資産合計	4,095,188	4,492,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	560,100	567,288
土地	1,182,654	1,601,791
その他(純額)	326,482	316,067
有形固定資産合計	2,069,238	2,485,146
無形固定資産		
	339,233	352,413
投資その他の資産		
差入保証金	1,062,118	1,054,104
その他	168,204	564,537
投資その他の資産合計	1,230,322	1,618,641
固定資産合計	3,638,794	4,456,202
資産合計	7,733,982	8,948,945
負債の部		
流動負債		
買掛金	533,532	781,257
電子記録債務	623,442	779,653
短期借入金	-	500,000
1年内返済予定の長期借入金	222,757	221,578
未払法人税等	73,235	48,678
賞与引当金	136,103	46,103
資産除去債務	-	17,459
その他	784,023	1,067,034
流動負債合計	2,373,095	3,461,765
固定負債		
長期借入金	340,221	175,508
退職給付に係る負債	325,800	337,607
資産除去債務	316,278	304,578
その他	359,448	425,995
固定負債合計	1,341,748	1,243,690
負債合計	3,714,844	4,705,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,525
利益剰余金	3,515,914	3,726,746
自己株式	△24,805	△13,608
株主資本合計	3,998,323	4,220,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	1,677
為替換算調整勘定	△6,768	△4,184
退職給付に係る調整累計額	27,582	25,544
その他の包括利益累計額合計	20,814	23,036
純資産合計	4,019,137	4,243,489
負債純資産合計	7,733,982	8,948,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	10,952,323	11,778,420
売上原価	4,760,919	5,070,279
売上総利益	6,191,403	6,708,141
販売費及び一般管理費	5,966,926	6,210,578
営業利益	224,476	497,562
営業外収益		
受取利息	0	113
仕入割引	7,642	8,381
為替差益	3,808	4,688
助成金収入	6,730	-
その他	4,533	6,311
営業外収益合計	22,715	19,494
営業外費用		
支払利息	3,373	3,734
その他	445	847
営業外費用合計	3,819	4,582
経常利益	243,373	512,474
特別損失		
固定資産除売却損	2,833	5,379
賃貸借契約解約損	3,078	-
役員特別功労金	79,900	-
社葬費用	21,888	-
減損損失	987	6,935
特別損失合計	108,687	12,314
税金等調整前四半期純利益	134,685	500,160
法人税、住民税及び事業税	13,601	63,480
法人税等調整額	24,508	22,149
法人税等合計	38,110	85,629
四半期純利益	96,574	414,530
親会社株主に帰属する四半期純利益	96,574	414,530

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	96,574	414,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	1,677
為替換算調整勘定	△1,805	2,583
退職給付に係る調整額	△651	△2,038
その他の包括利益合計	△2,456	2,221
四半期包括利益	94,118	416,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,118	416,752
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。